

議員力の向上を目指して!

地方議会の現状と課題を学ぶ



11月9日、天草市議会議員研修会を、議場として使用している五和町コミュニティセンターで開催し、24人の議員が参加しました。

今回は、元全国都道府県議会議長会議事調査部長で、多数の議会関係の著書を執筆されている野村稔氏を講師として招き、「地方議会の現状と課題」と題し講演が行われました。

講演では、自身の議長会職員の経験を踏まえた実践的な話を交えながら、地方議会の歴史や役割、議会運営などについての話があり、参加した議員は熱心に耳を傾けていました。

地域から日本を変える



1月9日、熊本県市議会議長会が主催する第25回熊本県市議会議員研修会がKKRホテル熊本で開催され参加しました。

今回は、フリーキャスターで事業創造大学院大学客員教授の伊藤聡子氏を招き、「地域から日本を変える」と題し講演が行われました。

講演では、人・仕事・モノの東京一極集中を地方に分散するために地方自治体が担う役割、その方策や考え方などについて、具体的な成功事例を交えながら話がありました。また、これから先は、AI(人工知能)やIoTの活用を避けては通れない時代になってくるので、将来を見据えてしっかりと学び、取り組む必要性を訴えられました。

ビジョンを明確に持ち、議会の場で議論を徹底していかなければいけないと気持ちを新たにすることができ、貴重な研修となりました。

改めて、議員一人ひとりが市の中長期的な

※IoT…Internet of Thingsの略で、モノとモノをインターネットでつなぐこと。

傍聴をお待ちしています!!

期日	会議	議事日程
1月30日(火)	本会議	開会 提案理由の説明
2月2日(金)	本会議	質疑
2月5日(月)	休会	市民生活委員会 建設経済委員会
2月6日(火)	休会	総務政策委員会 教育厚生委員会
2月7日(水)	休会	予算決算委員会 (補正予算)
2月13日(火)	休会	予算決算委員会 (一般当初)
2月14日(水)	休会	予算決算委員会 (特別・企業当初)
2月19日(月)	本会議	一般質問
2月20日(火)	本会議	一般質問
2月21日(水)	本会議	一般質問
2月23日(金)	本会議	委員長報告・ 討論・採決・閉会

平成30年1月定例会
会期日程(案)

詳細はホームページで動画配信しています。

天草市議会

検索

ここが聞きたい!
これを知りたい!

一般質問

市民財産保全への責務



蓮池 良正 議員

【都市計画税の課税中止を】

蓮池 市の歳入の中で、とりわけ自主財源では、固定資産税が一番安定的である。本渡と牛深の一部には、都市計画税が課税され、両地域の市民の協力のもと、貴重な財源が確保されている。実際の個人住宅の着工地域は、都市計画税が課税されている地域以外に広がってきており、私は課税自体を中止する方向で、まちづくりを再編していくべきではないかと考えている。新しい時代を創出する天草市全体の振興を図る観点から検証していただきたい。

建設部長 都市計画税は、街路、公園、下水道などの都市計画事業に要する費用に充て、残額を公債費に充当している。多方面から検証していく。

※本市まちづくりの都市基盤整備部門では、「暮らしやすい機能的なまちづくり」を基本方向とした取り組みを進めている。昨年7月に都市計画アクションプランを作成。

【3年ごとの評価替えの影響】

蓮池 天草市一帯の状況の特徴は、住民の高齢化が一方で進行しており、財産の継承がスムーズにされているのか、市税の収納の立場からは、どういった状況か。所有者が不明の固定資産を、公的に活用できるようにする法改正が検討されているという。適切になされるべき原則である。成年後見制度等の周知活用も支援しながら、専門職の方々の出番を活かしていただきたいと思います。どのような方向性か。

市民生活部長 土地の下落は近年も続いており、平成30年の評価替えにおいても、412カ所の標準宅地の約4分の3で下落が見込まれる。家屋は、新築及び増築により決算額は増加傾向だが、評価替えの年度は減収見込み。財産の継承については、相続人代表者指定届を送付している。



●水銀フリー(不使用)の取り組みについて
●30歳の成人式(三十路式)開催について
●食品ロス削減に向けて(30・10運動)



赤木 武男 議員

赤木 平成25年に熊本市・水俣市で「水銀フリー宣言」が行われ、29年8月に水俣条約が発効された。市の水銀フリーへの取り組みと水銀含有製品以外の代替品の普及について伺う。

総務部長 水銀含有製品については、本庁や支所等の拠点施設で回収ボックスを設置し、小型家電と併せて回収している。本庁舎においては、平成31年2月末完成予定の新庁舎では水銀含有製品は一切使用しないこととし、また全ての支所において、今後照明器具の交換時には水銀含有製品以外の代替品に替えていきたい。小中学校も年次計画で順次実施する。

赤木 街路灯や漁港には水銀灯が多く設置されているが、2020年以降は新たな水銀灯は設置できないためLEDやELランプ等に切り替える必要がある。また水銀灯と比較してもLEDやELランプはインシヤルコストやランニングコストで大きな相違があるが。

建設部長 関係法令の規定に沿って機能不全となった器具は順次LED等、適合する照明に切り替

える。LED等は水銀灯に比べ長寿命・省電力であり、機種によっては電気系統をそのまま使えるため、今後導入の検討を行っていく。

教育部長 15校の小中学校の体育館では水銀ランプを使っており、今後大規模改修等の際には効果的な代替品の整備を進めたい。

赤木 地元出身者が30歳を機に、地域の活性化のため「30歳成人式」を開催し、全国で波及している。市の取り組みを考えたい。

地域振興部長 社会人となった若者が地元に戻り、将来を考えると宴会の乾杯後の30分と終了前の10分は自席で食べるといった「30・10運動」の普及啓発を伺う。

地域振興部長 飲食店側だけでなく消費者も問題意識を持つて取り組む必要がある。30・10運動は関係部署と連携し飲食店や市民の方への普及啓発を進めたい。

赤木 食品ロス削減への取り組みと宴会の乾杯後の30分と終了前の10分は自席で食べるといった「30・10運動」の普及啓発を伺う。

地域振興部長 飲食店側だけでなく消費者も問題意識を持つて取り組む必要がある。30・10運動は関係部署と連携し飲食店や市民の方への普及啓発を進めたい。